

1年生教室南の「あまなつ」が、たくさん実っています

今年度も1年生教室南の「あまなつ」が、たくさん実ってきました。昨年度は、2月に200個ほどの収穫があり、1年生に配りました。一昨年度は、1000個以上の収穫があり、全校児童に配ることができたようですが、今年度は、どのくらい収穫できるか楽しみです。

また、今年度も、今から7年前の平成28年2月26日(金)付けの「ほづみっ子」に掲載された「あまなつ物語」を再掲させていただきました。

機会がありましたら、お子さんと一緒に「あまなつ君」に会いにきてください。



「あまなつ物語～あまなつ君のしあわせ～」

1ねんせいのきょうしつの前に、1本のあまなつみかんの木があります。その木は「あまなつ君」とよばれていました。あまなつ君は、あついなつも、さむいふゆも、まい日1年生と2年生のべんきょうのようすをみまもってきました。そのすがたをみていたあまなつ君は「ぼくもみんなといっしょにべんきょうしたいなあ。」と思うようになりました。そして、なん年もなん年もそう思っていました。あまなつ君は、にんげんになることはできませんでした。

「にんげんにはなれないけど、ぼくの実をたべてもらって、にんげんをよろこばせてあげることはできるかもしれない。」そう思ったあまなつ君は、じめんからいっばいえいようをすって、たいようのひかりをいっばいあびました。するとあまなつ君のからだはどんどん大きくなりました。なん年もたってあまなつ君は、りっぱなみきをもつおとなになりました。でもなぜか、思うようにたくさんの実がなりませんでした。

「よし、ほづみ小の子どもたちから“げんき”というえいようをもらおう。」とあまなつ君は思いました。子どもたちのまい日のげんきなあいさつやがっしょう、いっしょうけんめいべんきょうするすがた、グラウンドで思い切りあそぶようすを見ることで、それをあまなつ君はえいようにかえていきました。

するとどうでしょう。すこしずつたくさんの実がなるようになりました。「よし、もっとげんきのえいようをもらって、ほづみ小のおともだちぜんいんに、ぼくのおいしいあまなつをたべてもらおう。」とめあてをもったあまなつ君の実は、まいとしふえていき、なんとういうことでしょうか、とうとうことし1000この実をつけたのでした。あまなつ君からのあまくてすっぱいプレゼントをもらったほづみ小のおともだちは、みんなととびきりのえがおになりました。そして、それを見たあまなつ君はもっとしあわせになりました。